



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 バッファロー
 コード番号 3352 URL <https://www.buffalo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 坂本 裕二
 (氏名) 日下部 直喜
 TEL 048-227-8860

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,045	3.6	64	27.4	74	22.9	49	23.8
2019年3月期第1四半期	1,974	1.0	50	10.7	60	5.8	39	6.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.08	
2019年3月期第1四半期	18.38	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	6,818	4,979	73.0	2,233.90
2019年3月期	6,801	4,974	73.1	2,231.14

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 4,979百万円 2019年3月期 4,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		20.00	35.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	1.0	456	4.7	500	4.9	340	0.5	151.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,229,790 株	2019年3月期	2,229,790 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	851 株	2019年3月期	137 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,229,057 株	2019年3月期1Q	2,163,696 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、長期に渡る緩やかな景気回復を背景に、企業収益は引き続き高い水準で推移しましたが、米中貿易摩擦の影響による国際貿易の停滞や、東アジアにおける地政学的リスクの高まりなど海外情勢に不確定な要素が存在しており、国内では相次ぐ自然災害が経済に及ぼす影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明感が高まりました。内需環境につきましては、良好な雇用・所得環境が消費を下支えする一方で、食料品をはじめとした物価上昇の影響により、消費の引き締め志向は一層強いものとなっております。

国内カー用品市場におきましては、軽自動車を中心に新車販売台数が回復基調で推移したほか、危険運転やアクセル踏み間違え事故のニュース報道が相次いだことにより、ドライブ・レコーダー等の自動車運転の安全性に関連した商品に対する注目度が高まりました。

このような環境の中で当社は、2019年5月に公表した「2019 中期経営計画」のもと「クルマのことならオートボックス」の実践を通じた地域ナンバーワンの店づくりを目指し、顧客満足度向上のための接客・接客力の強化、技術力を備えた専門スタッフの育成に取り組んでまいりました。

販売施策といたしましては、潜在的な需要の見込まれる車の美観を向上させるボディコーティングやヘッドライトコーティングメニューの拡充を図るべく、「洗車ポイントカード」の導入を開始するなど車の美観に関心の高い顧客層の囲い込みに取り組んだ結果、ピット・サービス工賃部門は前年同期比で6.6%増と伸長しました。タイヤ販売につきましては、低価格帯商品を充実させた売場作りと店頭販売体制の強化による販売数量の底上げと地域シェア拡大に努めたことにより、タイヤ・ホイール部門の売上高は同3.7%増となりました。一方、カーエレクトロニクス部門につきましては、ドライブ・レコーダーの販売が大幅増となりましたが、カーナビゲーションの標準装備化による販売減少に歯止めがかかっておらず、部門全体では同0.5%減となっております。車販売は、オートボックスのカーリースプラン「まる乗り」の販売が好調に推移したことなどにより、同32.4%増となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高2,045,847千円(前年同期比3.6%増)、営業利益64,778千円(同27.4%増)、経常利益74,050千円(同22.9%増)、四半期純利益49,222千円(同23.8%増)となりました。

各品目別の売上高及び構成比率は次のとおりであります。

品目別の売上高及び構成比率

(記載金額は千円未満を切捨)

品目	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前事業年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
ピット・サービス工賃	631,338	32.0	672,963	32.9	2,665,251	30.4
タイヤ・ホイール	414,449	21.0	429,635	21.0	2,109,888	24.0
アクセサリ・メンテナンス用品	405,504	20.5	409,859	20.0	1,768,388	20.1
カーエレクトロニクス	301,748	15.3	300,277	14.7	1,194,388	13.6
オイル・バッテリー	157,947	8.0	161,375	7.9	723,215	8.2
車販売	37,693	1.9	49,912	2.4	218,170	2.5
その他	25,470	1.3	21,823	1.1	100,881	1.1
合計	1,974,151	100.0	2,045,847	100.0	8,780,184	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期累計期間より、従来の品目区分名「車検・サービス」を「ピット・サービス工賃」に名称変更しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ0.2%、16,667千円増加し6,818,513千円となりました。これは主に、流動資産のその他に含まれる未収入金及び差入保証金の減少に対して、商品、現金及び預金の増加等があったためであります。

負債は、前事業年度末に比べ0.7%、12,102千円増加し1,839,279千円となりました。これは主に、未払法人税等及び長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の減少に対して、買掛金の増加等があったためであります。

純資産は、前事業年度末に比べ0.1%、4,564千円増加し4,979,234千円となりました。これは主に、配当金の支払に対して、四半期純利益の計上があったためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は概ね計画通り推移しており、現時点での2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,947,011	1,972,155
売掛金	463,820	472,465
商品	940,219	1,001,101
その他	307,764	263,824
流動資産合計	3,658,815	3,709,547
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	803,555	799,536
土地	686,694	686,694
その他(純額)	337,303	336,508
有形固定資産合計	1,827,553	1,822,740
無形固定資産	6,095	6,052
投資その他の資産		
差入保証金	784,303	770,107
その他	525,079	510,066
投資その他の資産合計	1,309,382	1,280,173
固定資産合計	3,143,030	3,108,966
資産合計	6,801,846	6,818,513
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,644	441,604
1年内返済予定の長期借入金	116,708	109,568
未払法人税等	78,646	27,927
賞与引当金	171,337	160,087
ポイント引当金	5,950	4,338
その他	442,479	397,362
流動負債合計	1,100,765	1,140,888
固定負債		
長期借入金	163,480	136,028
退職給付引当金	436,151	439,728
資産除去債務	82,159	82,542
その他	44,620	40,092
固定負債合計	726,411	698,391
負債合計	1,827,176	1,839,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	586,192	586,192
資本剰余金	560,798	560,798
利益剰余金	3,827,465	3,832,094
自己株式	△117	△117
株主資本合計	4,974,339	4,978,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330	265
評価・換算差額等合計	330	265
純資産合計	4,974,669	4,979,234
負債純資産合計	6,801,846	6,818,513

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,974,151	2,045,847
売上原価	977,545	1,013,896
売上総利益	996,605	1,031,950
販売費及び一般管理費	945,768	967,172
営業利益	50,837	64,778
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,648	2,611
受取手数料	3,418	3,233
受取協賛金等	1,274	2,265
その他	4,765	2,584
営業外収益合計	12,106	10,694
営業外費用		
支払利息	771	475
固定資産除却損	1,477	685
その他	432	260
営業外費用合計	2,682	1,421
経常利益	60,261	74,050
税引前四半期純利益	60,261	74,050
法人税、住民税及び事業税	1,807	18,865
法人税等調整額	18,686	5,962
法人税等合計	20,493	24,828
四半期純利益	39,767	49,222

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。